

児童生徒、保護者の声を最大限に 活用した学校運営を！

2023年9月 町田市議会一般質問

自由記述欄の公開状況は全件公開から抜粋して公開など 対応が学校によって大きく異なる。



武蔵岡中学校保護者による学校評価
 本校では、保護者の皆様の評価・御意見をもとに教育活動の一層の充実を図り、生徒のためによりよい学校づくりを目指し学校評価をお願いいたしました。今回は、80.3%（昨年度41.8）の保護者の方に御回答いただきました。皆様の御協力に深く感謝申し上げます。なお、御意見等につきましては、真摯に受け止め、保護者の皆様との教育ニーズにお応えできるよう全校職員で努力してまいります。今後とも御協力ををお願いいたします。（御意見等につきましては右面に一部を御紹介します。）

2022年度 武蔵岡中学校 保護者による学校評価 集計結果 (市共通項目)

項目	1	2	3	4	5
1 学校が、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている	17	29	3	4	8
2 学校が、地域に対して積極的に情報発信している	22	29	3	5	2
3 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	24	24	5	5	5
4 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	27	23	5	3	3
5 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	14	26	15	4	2
6 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	19	25	9	8	0
7 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	12	17	9	16	8
8 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	10	20	14	12	5
9 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	17	19	11	9	5
10 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	18	28	2	9	7
11 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	25	24	4	4	8
12 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	23	32	4	0	2
13 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	24	34	2	0	1
14 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	19	33	9	1	1
15 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	12	34	11	2	2
16 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	24	20	4	5	6
17 学校が、保護者や地域の方に対して情報発信をしている	20	25	4	1	2

保護者による教育活動に関するアンケートの結果について

項目	割合
イ④ お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。	約11%↑
エ① お子様は、日常的に、運動やスポーツ（遊びや部活動を含む）に積極的に取り組んでいる。	約13%↑
学校独自項目4 お子様は、ご家庭で悩みななどを相談する。	約10%↑

※自由記述ではたくさんのご意見をいただきました。感染症対策は続いていますが、行事等について通常時に近い実施を望む意見が複数ありました。健康・安全を第一にしつつ、意義のある教育活動を検討、実施していきます。

「保護者による学校評価」での御意見等について（主に課題として挙げられるもの）

御意見等	回答
1 各種の情報を活用し、子供の特性やき手に寄り添った対応をしていただきたいです。	生徒に寄り添った対応ができず、申し訳ございません。校内で確実に情報共有し、個々の生徒の心情に寄り添った対応を進めてまいります。
2 ①地域に対する情報発信がとて減っている。そのためか、地域の方達の学校への興味関心が低下している印象を強く感じます。 ②小学生と中学生の交流が減り、ゆくのきらしさが無くなって非常に残念。以前は中学生が小学生のお手本になるべく、行動していた。小学生は、そんな中学生に憧れ、間近で見ているため、学年が上がることによって指示されなくても行動できる子が多かったです。	小中一貫ゆくのき学園として、今年度、10周年を迎えました。記念誌の作成等で関係当事者を振り返ると、今のゆくのき学園は、小・中学生の交流、地域等との交流が少なくなっているのを感じています。今年度、生徒総会で生徒から小学生との交流を望む意見があり、星休みの遊びによる交流が実現しました。ゆくともにおける交流も実施したところです。児童・生徒も望んでいることもあり、今後小中交流の在り方を検討していきます。
3 ゆくのきが開校した時に比べると、学校との繋がりは薄れ、又一貫校として小中での児童のかわりや先生方の協力なども以前のようにはないようなので残念に思う。	地域との交流につきましても、新型コロナウイルス感染症に関する社会的情勢を踏まえた形にはなりますが、見直しを図ってまいります。「ゆくのき学園」のよさを再構築するためには少し時間を要しますが、いただいた御意見を真摯に受け止め、教育活動に取り組んでまいります。
4 小中一貫校としてのゆくのき学園のよさを端からなくそうとしているのですか。	授業等を含め、丁寧な対応がなかった点につきまして、お詫び申し上げます。生徒の実態把握及び対応、家庭への配慮等、より一層心掛けてまいります。
5 授業では年齢相応の内容になるよう配慮してほしい。また、時間が大幅にずれるときは教えてほしい。	分りづらいた点があり、申し訳ございません。次年度から教材費が公費計となりますが、適宜正確な情報発信に努めてまいります。
6 支払い方法等、分かりづらかった	

※保護者の皆様からいただきました御意見につきまして、肯定的な内容も多数ございました。ありがとうございます。教職員にとって、大変励みになります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

アンケート結果の分析

・地域と学校との関係について、肯定的な意見を多くいただいています。「学校は地域と一体となって子どもたちを育てている」の質問項目において肯定的な意見が96%と大変高い数字となっています。学校の教育活動に協力して下さる地域に感謝すると共に、こうした地域性を学校の強みとして、今後も社会に開かれた学校を目指してまいります。その一方で、「学校は地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている」の質問に対して肯定的な意見が81%と低くなっています。地域人材を活用した授業数は増加しているの、そのことを保護者にも情報発信していきたいです。(ア②)

・92%の方が基礎的、基本的な事柄が身に付いていると評価してくださいました。さらに基礎、基本の充実を努めていきたいと考えています。(イ①)

・宿題や家庭学習は22%の方が不十分だという回答でした。さらに家庭と連携して進んで取り組む児童を育てていきたいと思っています。(イ②)

※自由記述ではたくさんのご意見をいただきました。感染症対策は続いていますが、行事等について通常時に近い実施を望む意見が複数ありました。健康・安全を第一にしつつ、意義のある教育活動を検討、実施していきます。

一人一台タブレット端末の導入から2年目となり、ICT活用に関わるご意見も多くありました。故障、不具合や家庭での操作等で困ることがあるなどの課題もありますが、「クロムブックに親しんでいる」というご意見に象徴されるように、ICTが学習手段として定着していることも感じられます。さらなる子供の成長につながるよう、活用の仕方を検討していきます。

多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。評価の良かった点を励みとし、改善する点は改善策をしっかりと立て、成瀬台小学校の教育を更に充実させていきます。

交通事故が全国的に跡を絶ちません。今後も安全指導に努めていきます。(ウ②～④)

・ネットマナーについては、13%の方が「わからない」と回答しており、20%の方が不安を感じているようです。特にスマートフォンについてはご家庭における約束が重要になってきます。学習においてICT活用が不可欠になっていく中で、SNS東京ルールを基に指導を強化し、ご家庭にもお声かけをしていきます。(ウ⑤)

・48%の方が中学校との連携について「わからない」という回答でした。コロナ禍において例年の交流活動ができていないという実態はありますが、中学校との連携をより密にし、その様子を積極的に発信していきます。教員同士も小中の連携をとり、児童・生徒が良好な人間関係をもち、学校生活に馴染めるよう努めてまいります。(17①)

・今後とも校内美化を促し、校内の環境整備に努めていきます。(18①)

※自由記述ではたくさんのご意見をいただきました。感染症対策は続いていますが、行事等について通常時に近い実施を望む意見が複数ありました。健康・安全を第一にしつつ、意義のある教育活動を検討、実施していきます。

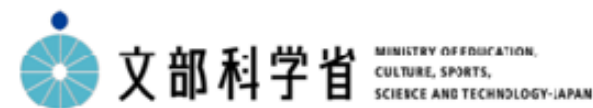
一人一台タブレット端末の導入から2年目となり、ICT活用に関わるご意見も多くありました。故障、不具合や家庭での操作等で困ることがあるなどの課題もありますが、「クロムブックに親しんでいる」というご意見に象徴されるように、ICTが学習手段として定着していることも感じられます。さらなる子供の成長につながるよう、活用の仕方を検討していきます。

多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。評価の良かった点を励みとし、改善する点は改善策をしっかりと立て、成瀬台小学校の教育を更に充実させていきます。

文科省ガイドラインには 匿名性の担保について記載がある

学校評価ガイドライン

〔平成28年改訂〕



http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakko-hyoka/index.htm

⑤ 自己評価の実施

自己評価の実施

○ 自己評価は、校長のリーダーシップの下、全教職員が参加して組織的に取り組むことが重要である。また、必要に応じて、評価委員会など、学校評価を中心となって実施するための組織を校内に設けることも考えられる。なお、小中一貫型小学校及び小中一貫型中学校については、両校の校長をはじめとする教職員が連携の上、学校評価を実施することや、評価委員会などを設ける場合には、両校横断的な組織とすることが望ましい。

○ 各学校は、P.13「②自己評価の評価項目の設定」により設定した評価項目・指標等を用いて、目標の達成状況や達成に向けた取組の状況を把握・整理する。その整理結果をもとに、これまで進めてきた教育活動その他の学校運営に関する取組が適切かどうかを評価し、その結果を踏まえた今後の改善方を検討する。

○ 自己評価を行う上で、児童生徒、保護者、地域住民から寄せられた具体的な意見や要望、児童生徒による授業評価を含む、児童生徒、保護者、地域住民に対するアンケート等（外部アンケート等）の結果を活用する。

その際、集計・分析等に要する事務量にかんがみ、重点目標や評価項目等との関連を図りつつ、適切な項目を設定して行う必要がある。

なお、アンケート等の実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する。

■ 教育目標・学校評価

○教育目標の設定と自己評価の実施状況

- ・児童生徒や学校の実態、保護者や地域住民の意見や要望を踏まえた学校としての目標等の設定の状況
- ・学校の状況を踏まえ重点化された短(中)期の目標等の設定の状況
- ・目標等を踏まえた自己評価の評価項目の設定の状況
- ・自己評価が年に1回以上定期的に実施されているかなど実施の状況。
- ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況
- ・全教職員が評価に関与しているかなど体制の状況。
- ・外部アンケート等の実施と自己評価への活用状況
- ・授業など学校に対する評価が実施されている場合、評価を行った児童生徒・保護者の匿名性の担保への配慮の状況
- ・自己評価の結果の設置者への報告の状況
- ・(データ等)学校の目標・計画等

- 52 -

○学校関係者評価の実施状況

- ・「外部アンケート等」を除き、保護者その他の学校の関係者による主体的・能動的な評価が年に1回以上定期的に実施されているかなど実施の状況
- ・学校関係者評価が自己評価の結果を踏まえたものとなっているかなどの状況。
- ・学校関係者評価のための組織（学校関係者評価委員会のほか、学校評議員や学校運営協議会等の既存の組織を活用する場合を含む）の構成等の状況
- ・学校関係者評価の評価者の構成の状況（保護者が含まれているか、など）
- ・学校関係者評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況
- ・学校関係者評価の結果の設置者への報告の状況

○学校に対する児童生徒・保護者の意見・要望等の状況

- ・児童生徒・保護者の満足度の把握の状況
- ・教育相談体制の整備状況、児童生徒・保護者の意見や要望の把握・対応状況
- ・授業など学校に対する評価が実施されている場合、評価を行った児童生徒・保護者の匿名性の担保への配慮の状況
- ・(データ等)児童生徒・保護者による授業などに関する評価の結果

匿名性の担保については 保護者や子どもたちからも声が上がっている

いつもありがとうございます。

読書や作品展など、季節ごとにイベントを企画していただけるので、その都度親子で話す機会も増え、子の成長を実感できています。

少し気になる点としては、こういったアンケートが長年記名式のままであることです。

小さな問題点を少しずつ改善する事でより良い教育環境に繋げて行くのが理想かと思いますが、アンケートが記名式だと親としては『この位は我慢すれば良いかな、子供に不利になっても困るし』といった心理が働きます。

誹謗中傷や理不尽な要求は論外として、より良い教育の為に保護者の生の声を集めるのならば、無記名でのアンケートをご検討頂きたいです。

アンケートなのに、記名式なのですね。

名前を記入してのアンケートだと本当のアンケートにならないと思います

学校評価アンケートに記名すると、正確な結果は得られないと思います。

学校に毎日から見に行ってる訳じゃないから学校生活や授業や美化とか分からないので、こういうアンケートは全く意味がないと思います。そもそも学年や名前入れたらアンケートじゃないです。これは親ではなく子供たちが答えた方がいいと思います。

◆アンケートを無記名で出したい。

→アンケートへの回答は、今後も記名でお願いします。

- ・記名式のアンケートでは正直に答えられないかたもいるのではないのでしょうか。
- ・なぜ記名式のアンケートになったのか詳細を知りたいです。またどのくらいの保護者の数が無記名のアンケートでいいと思っているかのアンケート結果が気になります。→町田市では「保護者による学校評価アンケート」は全小中学校においてずっと記名式で実施しています。無記名がよいというご意見は毎年数件いただいています。

子どもからは、学校内にある投書箱も学校評価アンケートも記名式で、意見を書きにくいという趣旨の声も。

欠席連絡、お便り配布のオンライン化を求める声が多い。
欠席時の対応、不登校への対応という点でも課題が。

娘は不登校ですが、放課後登校して、配布物を持って帰ってきますが、メールで送られてくるDVD申込や、提出期限のあるお知らせが配布されて無いことが度々あります。

先生方から温かい言葉をいただき、いつもありがたく思っております。学校を休みがちですが、classroomに次の日の時間割や宿題があると、対応しやすいです。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

・保護者向けの全ての配布物をペーパーレス化してほしいです。子供から配布物が届かない場合があります。

周辺小学校のように欠席連絡をフォームでできるようになってほしいです。

連絡（欠席、確認）や配布物など電子化できると助かります。常に在宅できるわけではないので、連絡の取りやすさなど、ご検討いただけないでしょうか。

学校の休み連絡は電話でなくてよいと思う

市内他校のようにメールやアプリを活用した欠席連絡体制に変更していただきたい。

クロムブックをもっと活用して欲しい。翌日の時間割等連絡事項を掲載してもらえると助かります。

オンラインで配布している
ケースには感謝の声も。

担任の先生がクラスルームに時間割、学習内容、学習資料、宿題などを掲示してくださっているので子供もとてもよいと思っていますし、親も学習内容がわかってありがたいです

Chromebookを積極的に活用していただけていると感じています。家でもタイピングの練習をよくやっていたり時間割もChromebookで確認できるので急に休んでも困ることがありません。音読もChromebookがあればできる様にしていただけていて荷物も少なく負担を軽減していただけていてとても助かります。

校則見直しでは、不登校の子どもたち 保護者が確実に意見できる環境整備を

- 不登校の原因として、小学生2.7%、中学生7.8%が「学校の決まりなどの問題（学校の校則が厳しかった、制服を着たくなかったなど）」と回答。（令和2年度不登校児童生徒の実態調査より）
https://www.mext.go.jp/content/20211006-mxt_jidou02-000018318-2.pdf

- 不登校の子どもたちにこそ
丁寧に確実に意見を聞く必要がある。

・児童会・生徒会や保護者会といった場において、確認したり議論したりする機会を設ける。
・児童生徒及び学校関係者と、共通の認識をもって見直しを行う。
・見直しに際しては、児童・生徒が主体的にかかわれるようにするとともに、各自が意見を出しやすいような仕組みとする。
例：生徒会において議論をする。必要に応じて匿名のアンケートをとる等。

町田市立学校における校則（生活のきまり等）の見直しについて

- 校則（生活のきまり等）の見直しの留意点
今般の生徒指導提要の改訂では、生活指導の目的について次のように示されています。

※生徒指導提要とは、文部科学省が生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書として作成したもので、2022年（令和4年）12月に改定されました。

生徒指導の目的は、教育課程の内外を問わず、学校が提供する全ての教育活動の中で児童生徒の人格が尊重され、個性の発見とよさや可能性の伸長を児童生徒自らが図りながら、多様な社会的資質・能力を獲得し、自らの資質・能力を適切に行使して自己実現を果たすべく、自己の幸福と社会の発展を自らが追求することを支えるところに求められます。

以上のことを踏まえ、3つの観点から校則（生活のきまり等）見直しを行う。

- 社会通念上合理的と認められる範囲内であるか。
- 児童生徒の基本的な人権に十分配慮されているか。
- 児童生徒や保護者等の学校関係者からの意見を聴取したうえで定められているか。

- (1) 社会通念上合理的と認められる範囲内であるか。
 - ・各々によって解釈に違いが生じるあいまいな表現をしない。
例：小（中）学生らしいといった表現を用いている。
 - ・合理的に説明できない校則（生活のきまり等）としない。
例：下着の色は白とする。（白のみとする）
例：標準服でなければ、登校できない。（登校禁止とする）
例：認めていない高等学校があるからツーブロックは禁止とする。
 - ・保護者に過大な負担を強いる校則（生活のきまり等）としない。
※「ポロシャツは、紺・白・黒とする。」など、メーカーや商品を指定せず各家庭で選択肢をもつことができるようにすることで、金額を抑えることができる。
- 児童生徒の基本的な人権に十分配慮されているか。
 - ・児童生徒の身体的特徴にかかわる表現や性的マイノリティに配慮する。
例：「男子はスラックス、女子はスカート」などといった表記をしない。
- 児童生徒や保護者等の学校関係者からの意見を聴取したうえで定められているか。